



30th  
Anniversary



日本さくら名所 100 選  
「斐伊川堤防桜並木」

認定 30 周年記念式典



令和 4 年 11 月 19 日 (土)

主 催

雲南市

日本さくら名所 100 選「斐伊川堤防桜並木」  
認定 30 周年記念事業検討委員会

共 催

雲南市さくらの会

雲南市さくらのまち観光振興協議会





# 式次第

---

## オープニング

---

---

## 記念式典

---

- 1 市長式辞
- 2 来賓祝辞
- 3 来賓紹介
- 4 感謝状贈呈
- 5 万歳三唱

休憩

---

## 記念講演

---

講師：黒坂 登 氏

(樹木医、仙北市(角館)さくらアドバイザー)

演題：ソメイヨシノは強(したた)かだった

## 来賓出席者 御芳名

衆議院議長  
日本さくらの会 会長

細田博之様

衆議院議員  
日本さくらの会 評議員

高階恵美子様

衆議院議員

高見康裕様

(代理：秘書 坂栄一秀様)

参議院議員

青木一彦様

(代理：松江事務所長 堀江隆典様)

参議院議員

舞立昇治様

島根県知事

丸山達也様

島根県議会議員

山根成二様

島根県議会議員

高橋雅彦様

雲南市議会議長

佐藤隆司様

雲南市地域自主組織  
連絡協議会会長

加藤一郎様



## ご挨拶



雲南市木次町「斐伊川堤防桜並木」日本さくら名所100選認定30周年を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

平成2年(1990年3月)に認定されて以来、桜の保全管理体制として「桜守」を採用し、本格的に桜の手入れに取り組んできました。また、各地域で桜を愛する方々による、桜を守る取り組みが行われてきました。

皆様方のご尽力によりまして市内の桜が手入れされ、どこへ行っても胸を張って自慢できる「雲南市の桜」は、地域が誇る宝物であります。そして、雲南市の桜の代名詞といえる斐伊川堤防桜並木が日本さくら名所100選に認定されてから、こうして30周年を迎えられましたこと、心より感謝申し上げます。

雲南市内の桜も老木が多くなってきているところではありますが、日々の手入れによりまして毎年見事な花を咲かせています。今年の春も例年と変わらず、きれいで見事な花を咲かせてくれました。

毎年のことながら、厳しい冬を越え、桜の開花に春の訪れを感じるとともに多くの市内外からの花見客でにぎわう雲南市の桜は、雲南市が誇る観光資源でもあり、地域の財産であると感じております。全国各地の桜愛好家の方々から高く評価され、大変誇りに思うところでございます。

近年では、桜土手のソメイヨシノだけではなく、大東町の河津桜や三刀屋町の御衣黄など多様な品種の桜も増えております。また、地域の方々に桜の植栽の取り組みがあり、桜の名所づくりが進められています。こうした各地域での取り組みを一層進めることにより、雲南市の各地に桜の見どころがある「桜のまち 雲南市」のイメージを確立させてまいります。

今回の30周年を一つの節目として、今後も、雲南市さくらの会、雲南市さくらのまち観光振興協議会と連携しながら、桜を守る取り組みを着実に進め、桜の名所づくり、桜のまち雲南市のPR活動にも取り組んで、桜のまちづくりをさらに進めてまいります。

結びに、皆さまの益々のご活躍、ご健勝を祈念しまして挨拶といたします。春には見事な花を咲かせた雲南市の桜をぜひ見に来ていただきたく存じます。

雲南市長 石飛 厚志

# 感謝状 贈呈

## 雲南市 感謝状

雲南市の桜のまちづくりの取り組みに貢献されました。

### ❁ 吾郷 廣幸 様

平成21年7月から雲南市さくらの会会長として、日本一の桜のまちづくりを目指し、桜の保護育成だけでなく、雲南市の桜の発信、会員拡大など、雲南市の桜のまちづくりに多大に貢献をされた。

### ❁ 遠田 博 様

島根県職員として、林業行政に携わってきた長年の経験を活かし、平成20年から14年にわたり3代目雲南市桜守として、市内にある桜の保護・育成に尽力された。

知識・経験の豊富さ、技術の確かさに加え、温厚な性格で人望が厚く、地域の方々からも愛される桜守として活動された。

## 雲南市さくらの会 感謝状

雲南市内各地域で桜のまちづくりの取り組みに貢献されました。

### ❁ 河津桜を育てる会 様

会員をはじめ、地区内のボランティア、住民合同で約2,000本の河津桜の植栽、管理、桜並木の整備に取り組まれている。

### ❁ 丸子山を愛する会 様

町内住民全体に呼びかけた定期的な除草作業などの清掃活動や桜木の植栽、管理に取り組まれている。

### ❁ 西日登振興会 様

西日登地区の中央さくら公園の桜の枝の剪定など年3回の手入れに取り組まれている。

### ❁ しましん木次青友会 様

毎年春のさくら祭りの前に、会員の皆様が多数参加して、ゴミ拾いや草刈り等の清掃活動「斐伊川堤防・桜土手クリーン作戦」を実施されている。

### ❁ 斐伊活性化協議会 様

請川沿い、城名樋山の桜の追肥、冬季に枝の剪定などの手入れに取り組まれている。

### ❁ 木の花工房 様

全国でも数少ない桜染め工芸品を開発、販売されている。  
ほかに、桜染め体験の受け入れや、作品の販売・個展などを通じて、雲南市の桜の発信に取り組まれている。

### ❁ 出雲 孝悦 様

長年にわたり斐伊川土手周辺の清掃活動を続けられている。

### ❁ 森山 高明 様

毎朝斐伊川土手周辺の清掃活動を続けられている。

### ❁ 上ノ段1自治会 様

### 上ノ段2自治会 様

斐伊川堤防(上ノ段1・2自治会前)にある桜の管理に自治会をあげて取り組まれている。

### ❁ 妹尾 富徳 様

三刀屋川、斐伊川堤防の桜開花に“かがり火”を灯して観光振興に寄与されている。

# 記念講演



■ 講師：黒坂 登（樹木医、仙北市（角館）さくらアドバイザー）

● プロフィール

1990年度、旧角館町（現仙北市）の異動により商工観光課桜係に配属されてから、桜に関わり始め、1996年には樹木医に認定される。1997年度からは教育委員会文化財課へ移り、国指定文化財の桜の調査や保存事業を10年間担当。19年間桜に関わり2008年度末をもって定年退職。2010年から「仙北市さくらアドバイザー」の委嘱を受け、保存事業後の国名勝桜木川堤桜並木の植替えしないでの更新、天然記念物角館のシダレザクラの樹勢回復等の検証や後継者育成など、より良く桜を次世代に引き継ぐため精力的に取り組んでいる。公益財団法人日本花の会「桜の名所づくりアドバイザー」としても活動している。

## ～出演者紹介～

● オープニング

・ライジングサン

木次町寺領の方を中心としたコーラスグループ。

雲南市民演劇で2010年に上演された木次町のさくらの歴史を題材とした「桜並木の物語『ひと花の吹雪』」の劇中歌を手話付きで歌った当時のメンバー8名が現在も活躍中。

[演奏曲] 「さくら、さくら」 童謡・唱歌  
「さくらのうた その1」

～雲南市民演劇「桜並木の物語『ひと花の吹雪』」より～



● ミニコンサート

・オロチの路ユースオーケストラ

島根県内初のユースオーケストラ。木次線沿線の街々を音楽でつなぐことを目的に結成。令和4年10月に旗揚げ公演を行った。

[演奏曲] 松任谷 由美 作曲 「春よ来い」

NHK 連続テレビ小説「だんだん」劇中歌より 村松 崇継 作曲 「いのちの歌」他



冠婚葬祭イベントや祭り等でフルート演奏、司会を務める。また、選挙があれば、ウグイス嬢として活躍。形態はソロ、アンサンブル、オーケストラ、大編成のバンド。ジャンルはクラシックからポップス、演歌まで。また、夏冬には中高生への音楽指導にも力を入れており、年々活躍の場が広がっている。

「普段は持ち前の明るさと元気な声でみんなを笑顔に致しますが、本日は静かにしっとり癒しの演奏を致します。短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。」

■ 多久和志津



ピアノとクロマティックハーモニカを演奏する、音楽界の二刀流。

各地で挙式、披露宴、パーティー等で演奏をする傍ら教室で講師も務める。山陰で最も求められ続けているピアニストの一人。紡ぎ出す音色は癒しの音色として高い評価を得ており、一度ピアノが鳴り出せば、誰もがその煌めきと輝きの世界に包まれる。

また感性でピアノの鍵盤を自由自在に操る彼女は伴奏の楽譜を必要としない。絶対音感と繊細且つ大胆な魂で奏でる珠玉のひとつときをどうぞ味わってください。

■ 坂上和佳子



# あゆみ

- 昭和初期 斐伊川土手に本格的に桜が植えられ始める
- 昭和48年 「健康の町木次桜の会」が結成され、町民による桜の愛護活動が活発になる
- 昭和62年 木次町総合振興計画「きすきチェリープラン」を策定  
シンボル事業に「日本一の桜のまちづくり」を設定
- 昭和63年 「第一回全国桜サミット」を木次町で開催
- 平成2年 斐伊川堤防桜並木が公益財団法人日本さくらの会から日本さくら名所100選に認定  
「日本一のさくらのまちづくり事業」をふるさと創生事業に選定  
桜守を配置し、本格的な保育管理と木次町さくら植栽運動を展開
- 平成5年 笹部桜を譲り受け、育苗に着手
- 平成10年 木次町民参加創作劇「桜並木の物語『ひと花の吹雪』」上演
- 平成11年 日本さくらの会 さくら功労者表彰受賞  
「桜並木の物語実行委員会」
- 平成12年 日本さくら名所100選認定10周年
- 平成15年 全国さくらシンポジウム IN きすき 開催  
木次町民創作劇「さくら遙か」上演
- 平成16年 大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町が合併し、雲南市が誕生。  
「雲南市木次さくらのまちづくり基金条例」施行  
「健康の町木次桜の会」から「雲南市さくらの会」として設立
- 平成17年 第1回大東町（河津桜）さくらまつり 開催
- 平成18年 市の花「さくら」に選定
- 平成22年 日本さくら名所100選認定20周年  
日本さくらの会 さくら功労者表彰受賞  
雲南市桜守 周藤 利夫さん  
小中学校での「さくら学習」、桜管理団体への育成指導など多岐にわたる活動への表彰
- 平成26年 日本さくらの会 さくら功労者表彰受賞  
元木次町職員 細木 訓さん  
斐伊川堤防桜並木の「日本さくら名所100選」選定に大きく貢献した功績による
- 令和2年 日本さくら名所100選認定30周年
- 令和3年 「雲南市さくらのまち観光振興協議会」設立  
雲南市は桜が3か月楽しめる「さくらのまち」として早咲きの河津桜から遅咲きの三刀屋の御衣黄までのみどころ発信  
雲南市桜どころマップの作成  
第1回みとや御衣黄平和祭り 開催
- 令和4年 河津桜（春紅桜）植栽20周年記念  
11月19日 日本さくら名所100選認定30周年記念式典



 30th   
Anniversary

